

第4回 令和7年4月17日(木)

「視野を変えるって大事なこと。」

昨年の夏、アキレス腱を断裂しました。

これは悲しむべきことなのだけれど、そのとき色々わかつたことがありました。

「松葉づえで歩くって、こんなに大変なんだ…」特に階段は一休みしながらでした。

「車いすは怖いことがたくさんある」雨の日に歩行者の傘とか、大きなカバンが目の前に迫ってきます。
ほんのちょっとの段差があることで、昇るのをあきらめたことも多かったです。

「私はいつギブスが取れるか先が見えていた。でもいつ歩けるようになるのか、先が見えないのは本当につらいよな」

とくに電車やバスに乗ることには本当に気を遣いました。乗客の皆さんのが待たされてイライラしているような気がして、つい焦ってしまいました。

今まで大きなケガをあまりしてこなかったので、このようなことを感じたことがありませんでした。

トイレのドアが車いすだと閉まらなかつたりとか(多目的トイレがどこにでもあるというわけでもありません)、町に段差がこんなに多いんだとか、手すりのない階段が至る所にあるとか、改めて気づくことがたくさんありました。

「学び」という面ではとても大きい経験でした。いまでも階段を降るのは少し怖いので、「この階段は急すぎるな」とか感じています。(川和の裏門の階段はけっこう怖いです。)

皆さんはリーダーに成長するのがミッションです。私のようにケガをしてから気づくのではなく、いつでも視点を変えて考える思考の癖をつけてほしいと思います。

あなたの教室のカバン、誰かの歩行を邪魔したりしていませんか？

電車の中の会話、乗客の皆さんの迷惑になってしまいませんか？

そして周りに困っている人はいませんか？

自然とそんなことが考えられるようになってくれると嬉しいです。